

平成29年度「文化庁日本語教育大会・東京大会」実施要項

平成29年7月25日
文化庁文化部長決定

1 目的

日本語教育に関するシンポジウム及び報告会等を開催し、日本語教育に対する理解の増進を図り、もって、日本語教育の充実と推進に資する。

2 主催

文化庁

3 対象

- ・ ボランティア団体，NPO法人等の地域における日本語学習支援者
- ・ 大学・専修学校・各種学校，その他の日本語教育機関・施設の教職員・研究者
- ・ 地方自治体（教育委員会を含む。）や国際交流協会の日本語教育・国際交流・生涯学習・社会教育担当者
- ・ 小・中・高等学校等の教職員
- ・ 大学や大学院等で日本語教育について学んでいる学生
- ・ 外国人を雇用している事業関係者
- ・ 外国人住民及び日本語学習者
- ・ その他，日本語教育に関心を持つ者

4 開催内容

○開催日 : 平成29年8月26日（土），27日（日）

○会場 : 文化庁・文部科学省（東京都千代田区霞が関3-2-2）

○テーマ :

日本語教育新時代！「これからの日本語教育の人材像を考える」

現在，国内に在留する外国人の数は増加しており日本語を学ぶ人の数も増加している。こうした学習者の増加を背景として，日本語教育人材の需要が今後も高まっていくことが予想される。1日目には，日本語教育に関連する外国人施策を各省庁から説明するとともに，日本語教育の人材を養成する機関と養成された人材を受け入れる機関の両面から，これからの日本語教育に求められる人材像を議論する。

2日目には，これから日本語教育分野で働くことを目指す人が，様々な日本語教育の分野で活躍している先輩から直接話を聞く場を設ける。あわせて，日本に在留する「生活者としての外国人」に対する日本語教育について，各地の先進事例を紹介する。

○構成・内容 : 別紙のとおり

日本語教育大会（東京大会）

○ 構成・内容

第1日目 8月26日（土）	
時間	内容
13:00 ～ 13:10	開催挨拶（文化庁）
13:10 ～ 14:15	日本語教育に関連する外国人施策等について （文化庁，内閣府，総務省，法務省，外務省，文部科学省，厚生労働省）
14:15 ～ 14:35	文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の審議状況の説明
14:35 ～ 14:50	休憩
14:50 ～ 15:20	「空白地域における日本語教室設置と専門人材の実践 ～鹿児島県長島町における地域日本語教育スタートアッププログラムの取組から～」
15:20 ～ 17:00	パネルディスカッション 「これからの日本語教育における人材像～養成の現場と活躍の現場の両面から考える専門性～」
17:00	閉会

※当日会場では「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 パネル展」を同時開催します
（12：30～17：30）

第2日目 8月27日（日）	
時間	内容
10:00 ～ 12:00	「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！」 ※前日のプログラム終了後，会場で申込み
12:00 ～ 13:30	「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 説明会（12：00～13：00） 「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～」 （12：00～13：30）
13:30 ～ 15:30	「生活者としての外国人」のための日本語教育 テーマ別実践報告会 【第1分科会】地域日本語教育の専門家って何するの？ ～空白地域解消の実践から（地域日本語教育スタートアッププログラム）～ 【第2分科会】子供に日本語を教える人の専門性を考えよう ～就学前から青年期にわたる対象別の日本語学習支援を通して～ 【第3分科会】ライフステージに応じた日本語学習を支援するには ～成人の学びの在り方を考える～ ※8月21日（月）までに申込み
15:30 ～ 15:45	休憩・移動
15:45 ～ 16:30	分科会報告・総括
16:30	閉会